

基調講演を行う鈴木大地スポーツ庁長官



スポーツ・文化センター開設記念シンポジウム

スポーツを通して 活気と絆ある社会作り

大学スポーツのブランド向上を目指す統括組織「日本版NCAA」をモデルとした「KSCC/Keidai sports&culture center」を今年4月に開設(7面に関連記事)。スポーツだけでなく文化系のクラブ活動も対象とした支援を行い、学生の学び(学業)と、クラブ活動と地域・社会貢献を結びつける取り組みがスタート。これを記念してシンポジウム「大学とスポーツ」が、5月26日(土)午後1時から、A館フレイアホールで開催された。

鈴木大地スポーツ庁長官(人間科学部客員教授)による基調講演「21世紀におけるスポーツの可能性」と、スポーツ界の第一人者5名によるパネルディスカッション「大学とスポーツ」の模様をレポートする。

シンポジウムの司会を務めたのは、CBS文化放送局の岸田稜平さん(経営学部3年)。開催に先立ち、人間科学部の福井孝明学部長が「大学スポーツにおける指導者、資金、学業との両立などの問題をどのように解決していくか、地域との連携を含め、シンポジウムを通じて考えていきたい」と挨拶。続いて来賓を代表し、公益財団法人大阪体育協会の新堂友衛副会長が、「大学のイメージアップのために、スポーツは大事。また今後開催される世界規模の大会を地域全体で盛り上げ、アスリートの育成や大阪の発展に尽くしたい」として吉村洋文大阪市長の「大経

シンポジウムに先立ち、鈴木長官は、体育館で同日行われていた大経大キッズカレッジ「フライングフットボール教室」と、中高生のための「きざし塾」を見学した。

フライングフットボール教室では、地域の子どもたちを招き、アメフト部の学生がコーチとなって指導。鈴木長官は、子どもたちの楽しそうな様子に目を細めながら練習風景を見入っていた。続いて、地域住民の健康増進プログラム「きざし塾」にも足を運び、参加者を前に挨拶し、記念撮影などを行った。

鈴木長官がイベントを見学



「スポーツを通して、前向きで活力ある社会、絆の強い社会を作りたい」と語った。第2部のパネルディスカッションでは、鈴木長官、河田剛客員教授(米国スタン

フォード大学アメフトコーチ/人間科学部客員教授)、岩崎恭子氏(1992年バルセロナオリンピック女子200メートル平泳ぎ金メダリスト)、半田裕教授(人間科学部)、そしてNHKエグゼクティブアナウンサー



河田剛客員教授



岩崎恭子氏



半田裕教授

野村正育氏がコーディネーターとして登壇。まず徳永光俊学長が、KSCC開設の目的や意義について説明し、「大学スポーツは大学教育の重要な柱。そのあるべき姿を議論していただき、KSCC運営の参考になりたい。スポーツと文化を通じて、ヒトと街を元気にしていきたい」と挨拶。その後、野村氏の軽妙な司会で、河田客員教授は主に、指導するスタンフォード大学のアメリカンフットボールチームについて語り、「学生の本分は勉強だ」という認識が厳格なルールと

岩崎氏は「存在する。岩崎氏はスポーツ選手のセカンドキャリアについて「米国のスポーツ選手は、引退後に医師や弁護士などをめざし実現していく。そのような環境が日本にもあれば」。半田教授は「スポーツビジネスの進展には若い力が必要。良

い循環を生み出せる人材を本学から輩出していきたい」と、それぞれの専門分野から発言。最後に野村氏が、「スポーツの可能性と、地域に密着したスポーツの重要性」を強調して、パネルディスカッションを締めくくった。

主な記事 contents

- (1面) スポーツ・文化センター開設記念シンポジウム
- (2面) 2017年度卒業式・学位授与式、2018年度入学式、入学前交流会
- (3面) 大経大だより
- (4・5面) 広報「学生編集ページ」サクル紹介
- (6面) 長期有償型インターンシップ、海外インターンシップ、主な就職先
- (7面) スポーツ・文化センター新設、黒正塾、FD通信
- (8面) 教職KAWARABAN、教育振興募金報告、パンフレットの案内

ホームカミングデーのご案内

本年度もホームカミングデーを開催します。学生時代のゼミの先生や同窓生との再会をお楽しみください。色々な催しをご用意して、皆様のお越しをお待ちしています。

日時：2018年10月27日(土)
10:00~16:00

場所：大阪経済大学

お問い合わせ先
総務部総務課または大経大事務局

大学祭も
同時開催!!

2018年度 教育懇談会のお知らせ

下記の日程を予定しております。

大阪	6.23 日 受付 9:30~ ▶大阪経済大学	京都	6.30 日 受付 10:00~ ▶TKPガーデンシティ京都
高松	7. 7 日 受付 10:00~ ▶JRホテルクレメント高松	岡山	7. 8 日 受付 10:00~ ▶岡山プラザホテル
名張	7.14 日 受付 10:00~ ▶名張シティホテル	松山	7.15 日 受付 10:00~ ▶ホテルマイステイズ松山

4年間刻んだ 大経大プライドを胸に

2017年度
卒業証書
学位授与式

最初に、卒業生の門出を祝い、吹奏楽総部の演奏とグリークラブによる合唱が行われて開式。午前の部では、経済学部経済学科418名の総代として足立美さん、同学部地域政策学科189名の総代として菊池優太郎さん、人間科学部184名の総代として増田麻央さん、経済学研究科3名の総代として田中美穂さん



午前の部・総代の皆さん

人間科学研究科10名の総代として劉双さん。午後



の部は、経営学部1部経営学科317名の総代として本野優衣さん、同学部1部ビジネス法学科152名の総代として奥田恵美さん、同学部2部経営学科106名の総代として黒瀬徳洋さん、情報社会学部・経営情報学部61名の総代として篠倉亮祐さん、経営学研究科38名

の部は、経営学部1部経営学科317名の総代として本野優衣さん、同学部1部ビジネス法学科152名の総代として奥田恵美さん、同学部2部経営学科106名の総代として黒瀬徳洋さん、情報社会学部・経営情報学部61名の総代として篠倉亮祐さん、経営学研究科38名

業を祝い、そのうえで「道徳賞」と「研学修進賞」の言葉を例として、「いかに生きるかを一人ひとりが考えてほしい」と訴



えかけた。さらに、共存共栄を意味する「おかげさまで」「おたがいさま」の言葉に触れ、「この言葉は皆さんが社会で生きる力



来賓の祝辞では田村正晴大樟会会長が「100年のスパンで人生設計をする時代。70歳まで働くには体力と高いスキルが必要。職業能力を高めキ

式典終了後、卒業生は、ゼミ別に指導教員から一人ひとりに卒業証書が授与された。徳永ゼミの教室では、卒業生が「いろいろな人に出会い考え方が変わった。社会でも様々な人の意見を取り入れて行動したい」とたくさん

総代の足立美さんが、午後は経営学部総代の黒瀬徳洋さんが、母校や恩師、友だち、家族への感謝と今後の社会生活への意気込みなどを述べ、最後に全員で学歌を斉唱し閉式となった。



2017年度卒業証書・学位授与式が、3月17日(土)、午前の部は経済学部・人間科学部・経済学研究科・人間科学研究科、午後の部は経営学部1・2部・情報社会学部・経営情報学部・経営学研究科・経営情報研究科に分かれ、A館フレアホールで行われた。

最初に、卒業生の門出を祝い、吹奏楽総部の演奏とグリークラブによる合唱のあと、理事長、学長、学部長、研究科長、そして海外協定校のEMBA-SUGA Business School 学院長を含む来賓が登場。

まず徳永光俊学長が式辞として「新入生を迎えられたことが本当に嬉しかった。本学は2032年には記念すべき100周年を迎える。伝統を受け継ぎ、大経大プライドを持ち4年間を過ごしてほしい」と挨拶。詩人の長田弘さんの詩を引用して読書の大切さを強調した。

2016年から、推薦入試の入学予定者に対し不安解消、仲間づくり、

入学前交流会(土・3月3日(土)、各学部ごとにD館各教室で行われた。参加した入学予定者は、経営学部62名

大学理解を目的としたスクリーニング形式の「入学前交流会」を実施している。今年は各学部の特性を反映した課題を提供し、入学予定者同士や先輩との交流を通じて学部での学びをPBL形式で体験できるプログラムを企画。スクリーニングIが1月20日(土)・27日(土)、スクリーニングIIは、2月24日

スクリーニングIでは、グループに分かれて、各学部の課題に沿ったアイデアを出し合い、短時間で解決策を考えるワークショップを実施。IIでは、グループでまとめたアイデアをメンバー全員で紙芝居風に構成してプレゼンテーションを行った。

提起された学部別の課題は、経済学部が「大学周辺住民が喜ぶ施設やお店・企画などを考えよう!」、経営学部は「ネット社会が進む中、スーパースターが生き残るには?」、情報社会学部が「大学入学後、ネットトラブルの被害者・被害者にならないための情報倫理教育は何か?」、人間科学部は「2020年東京オリンピックの知名度を高める

果を出せたと感じしている。この経験は大学でも社会でも役立つはず、経営学部の伊藤正之准教授が、「難しいテーマに対して議論ができていて驚いた。これからも問題意識を持ち続けてほしい」と激励。スクリーニング後には懇親会も行われ、入学予定者からは「先輩といろいろな話があった。とても楽しい時間だった」「不安が解消された」との声が続出した。なお、参加者アンケートの結果は満足度98%と高い数値が出て、ほとんどの人がスクリーニングを楽しめたようだ。

入学前
交流会

互いに力を合わせ つながる力を発揮

「ほしい」と述べ、「学生時代にバイタリティ(活力)とセンシティブティ(感性)を培ってほしい。そのための機会が本学にはたくさんある。いろいろなことにチャレンジしてほしい」とアドバイスした。

最後に特別来賓であるEMBA-SUGA Business Schoolのマガリ・ケルウニオ学院長が、EMBAの概要や日本の関係、アジアからの留学生が多いことなどを紹介。昨年は終了。新入生はクラス別に各教室に分かれて、入学書類の授受が行われ、保護者に対しては、各学部長などによる学部紹介が実施された。

情報社会学部44名、経営学部108名、人間科学部36名。在学生約70名がファシリテーターを務めた。

スクリーニングでは、グループに分かれて、各学部の課題に沿ったアイデアを出し合い、短時間で解決策を考えるワークショップを実施。IIでは、グループでまとめたアイデアをメンバー全員で紙芝居風に構成してプレゼンテーションを行った。

提起された学部別の課題は、経済学部が「大学周辺住民が喜ぶ施設やお店・企画などを考えよう!」、経営学部は「ネット社会が進む中、スーパースターが生き残るには?」、情報社会学部が「大学入学後、ネットトラブルの被害者・被害者にならないための情報倫理教育は何か?」、人間科学部は「2020年東京オリンピックの知名度を高める

果を出せたと感じしている。この経験は大学でも社会でも役立つはず、経営学部の伊藤正之准教授が、「難しいテーマに対して議論ができていて驚いた。これからも問題意識を持ち続けてほしい」と激励。スクリーニング後には懇親会も行われ、入学予定者からは「先輩といろいろな話があった。とても楽しい時間だった」「不安が解消された」との声が続出した。なお、参加者アンケートの結果は満足度98%と高い数値が出て、ほとんどの人がスクリーニングを楽しめたようだ。

伝統ある大学の誇りと 自覚を持った学生に

2018年度
入学式



新入生代表の梅田さん



新入生代表の竹島さん

2018年度入学式が4月1日(日)、午前(経済学部・人間科学部・経済学研究科・人間科学研究科)と、午後(経営学部1・2部・情報社会学部・経営学研究科・経営情報研究科)の2部に分かれて、A館フレアホールで行われた。

吹奏楽総部の演奏とグリークラブによる合唱のあと、理事長、学長、学部長、研究科長、そして海外協定校のEMBA-SUGA Business School 学院長を含む来賓が登場。

まず徳永光俊学長が式辞として「新入生を迎えられたことが本当に嬉しかった。本学は2032年には記念すべき100周年を迎える。伝統を受け継ぎ、大経大プライドを持ち4年間を過ごしてほしい」と挨拶。詩人の長田弘さんの詩を引用して読書の大切さを強調した。

2016年から、推薦入試の入学予定者に対し不安解消、仲間づくり、

入学前交流会(土・3月3日(土)、各学部ごとにD館各教室で行われた。参加した入学予定者は、経営学部62名

大学理解を目的としたスクリーニング形式の「入学前交流会」を実施している。今年は各学部の特性を反映した課題を提供し、入学予定者同士や先輩との交流を通じて学部での学びをPBL形式で体験できるプログラムを企画。スクリーニングIが1月20日(土)・27日(土)、スクリーニングIIは、2月24日

スクリーニングIでは、グループに分かれて、各学部の課題に沿ったアイデアを出し合い、短時間で解決策を考えるワークショップを実施。IIでは、グループでまとめたアイデアをメンバー全員で紙芝居風に構成してプレゼンテーションを行った。

提起された学部別の課題は、経済学部が「大学周辺住民が喜ぶ施設やお店・企画などを考えよう!」、経営学部は「ネット社会が進む中、スーパースターが生き残るには?」、情報社会学部が「大学入学後、ネットトラブルの被害者・被害者にならないための情報倫理教育は何か?」、人間科学部は「2020年東京オリンピックの知名度を高める

果を出せたと感じしている。この経験は大学でも社会でも役立つはず、経営学部の伊藤正之准教授が、「難しいテーマに対して議論ができていて驚いた。これからも問題意識を持ち続けてほしい」と激励。スクリーニング後には懇親会も行われ、入学予定者からは「先輩といろいろな話があった。とても楽しい時間だった」「不安が解消された」との声が続出した。なお、参加者アンケートの結果は満足度98%と高い数値が出て、ほとんどの人がスクリーニングを楽しめたようだ。

大樟会だより

会長ご挨拶(要旨)

本日はご多用の中、全国各地からご出席をいただきありがとうございます。

大樟会は例年5月の最終土曜日を理事会開催日と定めておりますが、大学行事との兼ね合いで全国支部長会議を延期し、本日は理事会のみの開催となりました。ご遠方からご出席いただいている支部長理事の皆様には、了承いただきますようお願いいたします。

さて、29年度の大樟会活動は事業報告のとおり、滞りなく終了いたしました。支部および各種団体の会合が52ヵ所、同期会、クラブOB会が28ヵ所で開催され、全国80ヵ所で多くの卒業生が集いました。特にご報告したいことは、昨年10月、愛知支部では前身である東海支部設立から数えて「70周年の記念総会」があり、今年の3月には広島支部の「設立75周年の記念総会」が相次いで開催されました。昭和高校に始まり、女子経専、新制大学へと、連続とつながれてきた卒業生の先輩と後輩の絆は、まさに本学のブランディング戦略「つながる力No.1」を具現化するもの、つまり根本ではないでしょうか。これは大樟会の誇り



先輩と後輩の絆こそつながる力No.1の根本です

大阪経済大学大樟会 会長 田村 正晴

であるとともに、大学にとってもかけがえのない大きな財産ではないかと思えます。たかが同窓会、されど同窓会ではないでしょうか。

来る2020年には、いよいよ卒業生総数が10万人の大会に乗ります。私達は諸先輩の熱い思いと、設立の原点に立ち返り、これからも主体性のある活動を続けていかなければなりません。同窓会の役割は、一つ目は同窓生の親睦啓発であり、二つ目は大学貢献、特に現役学生への様々な支援。三つ目はステークホルダーとしての社会的役割です。これは何時如何なる時代にあって変わるものではありません。大樟会は今後とも母校に寄り添う最大の卒業生集団として、大学との連携を密にしながらその役割を果たしてまいります。

当面は2年先の卒業生10万人時代を視野に、組織運営を根本的に見直してまいります。

次なる時代に適応した組織運営の有り様について、そろそろ議論を始めなければならない時ではないかと思えます。

理事の皆様のご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



2018年度大樟会理事会

全国から理事125名が出席
全国支部長会議は10月27日に延期

平成30年度大樟会理事会は5月26日(土)午前10時30分からD館32教室で開催された。当日は、全国から125名の理事が出席した。はじめに物故者に対し、全員で黙祷を行った後、田村正晴大樟会会長が挨拶を行った(要旨別記)。続いて、来賓を代表して藤本二郎理事長と徳永光俊学長から祝辞が述べられた。さらに平成29年度に就任した新支部長6名と新理事19名が紹介された。

この後、議長に角脇忠行常務理事(34回)、副議長に田中伸治常務理事(45回)を選出して、議案の審議に入った。

第1号議案の平成29年度の事業報告では、総務部関係として、昨年の5月27日、定例の理事会を開催し、本部役員改選、大樟樟政会を7つ目の部

会として追加する等の議案を上程し、それぞれ原案どおり承認した。また、全国支部長会議では、過去2年間にわたり進めてきた同窓会設立80周年記念事業の進捗状況を報告した。その他、恒例となっている学生奨学論文表彰、本学の卒業生、後援会員等を対象にしたパンコン教室も開催し、好評を博した。また、広報部長に田中伸治常務理事(45回)を選出して、議案「(濠江53号)」を発した。特集として、本学の卒業生で、通販大手の「ジャパネットたかた」の創業者である高田明氏のインタビュー、女性卒業生の座談会、藤本二郎理事長のインタビュー、支部だ

2018年度
大樟会総会

10月27日

開催

ホームカミングデーも
同日開催しますので、ぜひご参加ください

卒業生の皆様へ
ご寄付のお願い

卒業生の皆様へ送付している大樟会(同窓会)の情報誌「濠江」に振込み用紙を挟み込んでいます。後輩のために温かいご支援(一口・千円から)をお願いいたします。お問い合わせは大樟会事務局
Tel.06-6328-2431 (代表)まで

設立80周年記念事業として大学の奨学金制度をバックアップすることが決議された。具体的には、大学の「緊急修学援助奨学金制度」と「遠隔地学生奨学金制度」について従来の大学枠のほかに同窓会枠を設けるものである。同窓会の奨学金給付の初年度となった昨年度は、合計25名の学生に総額460万円の奨学金を給付した。

ただ、現在の給付額を続けると奨学金のための積立金は10年程で枯渇する。同窓会の奨学金を永く続けるため、やはり卒業生からの寄付金に期待せざるを得ない。昨年度は同窓会の奨学金に約200万円の温かい援助の手が差し伸べられた。

同窓会の奨学金スタート
卒業生からのご寄付を期待

よりなど多くの同窓生の情報を掲載した。組織部では、支部総会・部会を計52回、同期会・クラブOB会を計28回開催し、その支援を行った。また、昨年11月25日(土)、永らく活動を休止していた島根支部は支部再興総会を開催。活動を再開した。また、財務部からの決算報告では、平成29年度から給付を開始した同窓会奨学金基金への同窓生からの寄付金(奨学金収入)は、大口の100万円も含め、予算額を大幅に上回る195万円を計上し、2000万円を取り崩し、

同窓会奨学金負担金として大学に寄付した。第2号議案では平成30年度事業計画および収支予算について各担当部長から説明があった。特に石橋組織部長からは地方からの入学者、卒業生が減っている中で、近隣の東大阪・八尾地区での支部設立を検討したい。また、現役学生に呼び掛けて地方の県人会組織を学内に立ち上げたいと考えているが、いずれも大変な努力を要することであり、すぐに実現するとは言えない。



次に、3号議案の会則の改定では、従来、学生会員から理事は選任されていなかったが、学生会員からも理事を選任することを明確にする。これらの説明に対し、出席理事から「濠江」の購読料の振り込み状況や、大学の奨学金制度支援の

ための資金負担の会計処理における勘定科目等に関する質問があり、それが報告された。なお、例年、理事会と同日開催されている全国支部長会議は、今回は、大学の行事との兼ね合いで、大樟会総会が開催される本年10月27日(土)まで延期された。

平成30年度 大樟会本部・支部行事予定(平成30年6月1日現在)								
	支部名	日程	会場		支部名	日程	会場	
6月	熊本支部	2日(土)	湯の児温泉「昇陽館」	9月	明石支部	1日(土)	グリーンヒルホテル明石	
	伊丹支部	9日(土)	伊丹シティホテル		大経大パソコン教室	8日(土)・9日(日)	本学	
	阪神支部	9日(土)	宝塚ホテル		日立大樟会	14日(金)	ガーデンシティクラブ大阪	
	滋賀支部	10日(日)	クサツエストピアホテル		東京支部	21日(金)	日本外国特派員協会	
	北大阪支部	16日(土)	本学E館7階		山口支部	22日(土)	新山口ターミナルホテル	
	豊中支部	17日(日)	千里阪急ホテル		石川支部	28日(金)	和倉温泉「のど楽」	
	川西・川辺支部	17日(日)	すし半 川西店		淡路島支部	29日(土)	やぶ萬(福良)	
	大分支部	23日(土)	大分センチュリーホテル		島根支部	29日(土)	松江エクセルホテル東急	
	福井支部	23日(土)	ザ・グランユアーズフクイ		愛知支部	30日(日)	名鉄ニューグランドホテル	
	大阪市住吉支部	24日(日)	本学E館7階			奈良支部	7日(日)	ホテル日航奈良
大樟体育会	30日(土)	本学E館7階		神戸支部	13日(土)	レニージュエル		
7月	税理士大樟会	2日(月)	大阪新阪急ホテル	10月	和歌山支部	13日(土)	ホテルグランヴィア和歌山	
	岡山支部	7日(土)	岡山プラザホテル		三重支部	20日(土)	和田金	
	富山支部	8日(日)	ホテルグランテラス富山		北九州支部	20日(土)	未定	
	愛媛支部	14日(土)	松山全日空ホテル		東播磨支部	21日(日)	加古川プラザホテル「東京田村」	
	社労士大樟会	21日(土)	本学E館7階		大樟会総会(ホームカミングデー)	27日(土)	本学	
	大阪市南・北支部合同	22日(日)	吉川ビル4階会議室		姫路支部	27日(土)	姫路キャッスルグランヴィリオホテル	
	池田支部	22日(日)	田まい			宮崎支部	10日(土)	ホテルメリージュ
	池田泉州銀行大樟会	23日(月)	大阪新阪急ホテル			南九州支部	10日(土)	ワシントンホテル 三十三間堂
静岡支部	28日(土)	ホテルセンチュリー静岡	11月	京都支部	10日(土)	ホテル京阪京都グランデ		
8月	鳥取支部	4日(土)		ANAクラウンプラザホテル米子	高知支部	17日(土)	土佐ノ國二十四万石	
	津山支部	25日(土)		割烹「桐生」	岐阜支部	18日(日)	岐阜キャッスルインホテル	



田中悠基さん (経営学部3年)
期間 2018年2月から約1ヶ月
派遣先 II 上海工技術学院商務日本語学科

2年生の春休みを生かして海外インターンシップに挑戦した田中さん。手ごたえや帰国後の意識の変化などを聞きました。

海外インターンシップで視野を広げた！ 中国の教育機関で日本語講師にチャレンジ

世界の実情を知り、日本を再発見したい
関西、日本を海外から観ることで視野を広げ、リアルな現地の姿を知りたいという気持ちから、中国での海外インターンシップに参加。自分が現地の皆さんに何を提供できるかと考え、日本語ネイティブの強みを生かせる日本語講師という職種を選択しました。

1200名を相手に日本語を指導

現地では、時には大講義室で1200名という大人数の授

業も経験。学生の興味を惹き続けることに苦心しましたが、おかげですっかり度胸がつきました。漫画やアニメの話題を取り入れた授業は特に好評でした。正直なところ、ずっと外国語で交流し続けるのは非常に疲れます。しかし、中国人学生やアジア、欧米から集まった留学生たちの頑張る姿に接することで、意欲が

き立てられました。

【コミュニケーション力に自信】

瞬く間の1ヶ月でしたが、この経験を通じ、コミュニケーション能力に相当自信がもてるようになりました。今後は「日本と中国の交流の架け

橋になる」という大目標に向かって、学生時代の後半を有意義に過ごしていきたいと考えています。

曾奈翔太さん (情報社会学部2年)

アルバイトではできない経験ができると思い応募した。ホテル業界に華やかなイメージを持っていたが、地味な仕事が多く驚いた。課題を見つけて自分から行動することを学んだ。この経験を今後の就職活動で生かしたい。

所属クラブの先輩に勧められて応募した。受け身な性格なので、現場では、指示を待つのではなく自分自身で考えて動いていった。最後に積極性を評価してもらって嬉しかった。大学生活でも自分の考えを持ち行動していきたい。

成果発表会では、馬場奈都子さん (経営学部3年)、藤原智津津さん (経営学部3年)、和田勝人さん (経済学部2年)、曾奈翔太さん (情報社会学部2年) の4名が、長期インターンシップについてプレゼンテーション。続いてウェスティンホテル大阪人事部長の植村守氏が、5名の就労を振り返り、「最初は不安だったが、現場の評価は高かった。社会では希望する仕事に就けないケースもあるが、与えられた仕事で頑張っていると評価され、チャンスが巡ってくる。皆さんの報告を聞いて成長が実感でき、涙が出るほど嬉しかった。今後

も積極的に、いろいろな経験をしたい」と講評、激励した。

本学初めての試みとなる3ヶ月間の「長期有償型インターンシップ」が、昨年10月1日から12月31日まで、ウェスティンホテル大阪で実施され、5名の学生が参加。最終課題の「成果発表会」が、2月8日(木)に行われた。

長期有償型インターンシップの目的は、「社会人基礎力を意識づけ、主体的に取り組む姿勢を

身につけること」。説明会に参加した40名のうち11名が応募し、5名の学生が選ばれた。そして3ヶ月間(週3日以上勤務)にわたり、事前に各自が設定した目標を意識しながら、サービス部門やレストラン部門などで実習、単位付与はないが、ウェスティンホテル大阪の規約に沿った給与が支払われた。

馬場奈都子さん (経営学部3年)

ホテル業界に興味があった。ルームサービスやエグゼクティブラウンジの仕事を体験し、ホテルの仕事に対する理解が深まった。主体性が強まり自分に足りないものを見つけられた。今後は欠点を改善し、めざす道を見つきたい。

藤原智津津さん (経営学部3年)

ホテルやブライダル業界に興味があった。ルームサービスとベルスタッフを中心に体験したが、イメージとは違い細かい対応が必要とわかった。何事も経験しないとわからない。いろいろ経験して自分に合った仕事を見つきたい。

和田勝人さん (経済学部2年)

所属クラブの先輩に勧められて応募した。受け身な性格なので、現場では、指示を待つのではなく自分自身で考えて動いていった。最後に積極性を評価してもらって嬉しかった。大学生活でも自分の考えを持ち行動していきたい。

成果発表会では、馬場奈都子さん (経営学部3年)、藤原智津津さん (経営学部3年)、和田勝人さん (経済学部2年)、曾奈翔太さん (情報社会学部2年) の4名が、長期インターンシップについてプレゼンテーション。続いてウェスティンホテル大阪人事部長の植村守氏が、5名の就労を振り返り、「最初は不安だったが、現場の評価は高かった。社会では希望する仕事に就けないケースもあるが、与えられた仕事で頑張っていると評価され、チャンスが巡ってくる。皆さんの報告を聞いて成長が実感でき、涙が出るほど嬉しかった。今後

も積極的に、いろいろな経験をしたい」と講評、激励した。

本学初めての試みとなる3ヶ月間の「長期有償型インターンシップ」が、昨年10月1日から12月31日まで、ウェスティンホテル大阪で実施され、5名の学生が参加。最終課題の「成果発表会」が、2月8日(木)に行われた。

長期有償型インターンシップの目的は、「社会人基礎力を意識づけ、主体的に取り組む姿勢を

身につけること」。説明会に参加した40名のうち11名が応募し、5名の学生が選ばれた。そして3ヶ月間(週3日以上勤務)にわたり、事前に各自が設定した目標を意識しながら、サービス部門やレストラン部門などで実習、単位付与はないが、ウェスティンホテル大阪の規約に沿った給与が支払われた。

馬場奈都子さん (経営学部3年)

ホテル業界に興味があった。ルームサービスやエグゼクティブラウンジの仕事を体験し、ホテルの仕事に対する理解が深まった。主体性が強まり自分に足りないものを見つけられた。今後は欠点を改善し、めざす道を見つきたい。

藤原智津津さん (経営学部3年)

ホテルやブライダル業界に興味があった。ルームサービスとベルスタッフを中心に体験したが、イメージとは違い細かい対応が必要とわかった。何事も経験しないとわからない。いろいろ経験して自分に合った仕事を見つきたい。

和田勝人さん (経済学部2年)

所属クラブの先輩に勧められて応募した。受け身な性格なので、現場では、指示を待つではなく自分自身で考えて動いていった。最後に積極性を評価してもらって嬉しかった。大学生活でも自分の考えを持ち行動していきたい。

成果発表会では、馬場奈都子さん (経営学部3年)、藤原智津津さん (経営学部3年)、和田勝人さん (経済学部2年)、曾奈翔太さん (情報社会学部2年) の4名が、長期インターンシップについてプレゼンテーション。続いてウェスティンホテル大阪人事部長の植村守氏が、5名の就労を振り返り、「最初は不安だったが、現場の評価は高かった。社会では希望する仕事に就けないケースもあるが、与えられた仕事で頑張っていると評価され、チャンスが巡ってくる。皆さんの報告を聞いて成長が実感でき、涙が出るほど嬉しかった。今後

も積極的に、いろいろな経験をしたい」と講評、激励した。

本学初めての試みとなる3ヶ月間の「長期有償型インターンシップ」が、昨年10月1日から12月31日まで、ウェスティンホテル大阪で実施され、5名の学生が参加。最終課題の「成果発表会」が、2月8日(木)に行われた。



曾奈翔太さん (情報社会学部2年)

アルバイトではできない経験ができると思い応募した。ホテル業界に華やかなイメージを持っていたが、地味な仕事が多く驚いた。課題を見つけて自分から行動することを学んだ。この経験を今後の就職活動で生かしたい。

所属クラブの先輩に勧められて応募した。受け身な性格なので、現場では、指示を待つではなく自分自身で考えて動いていった。最後に積極性を評価してもらって嬉しかった。大学生活でも自分の考えを持ち行動していきたい。

成果発表会では、馬場奈都子さん (経営学部3年)、藤原智津津さん (経営学部3年)、和田勝人さん (経済学部2年)、曾奈翔太さん (情報社会学部2年) の4名が、長期インターンシップについてプレゼンテーション。続いてウェスティンホテル大阪人事部長の植村守氏が、5名の就労を振り返り、「最初は不安だったが、現場の評価は高かった。社会では希望する仕事に就けないケースもあるが、与えられた仕事で頑張っていると評価され、チャンスが巡ってくる。皆さんの報告を聞いて成長が実感でき、涙が出るほど嬉しかった。今後

も積極的に、いろいろな経験をしたい」と講評、激励した。

本学初めての試みとなる3ヶ月間の「長期有償型インターンシップ」が、昨年10月1日から12月31日まで、ウェスティンホテル大阪で実施され、5名の学生が参加。最終課題の「成果発表会」が、2月8日(木)に行われた。

長期有償型インターンシップの目的は、「社会人基礎力を意識づけ、主体的に取り組む姿勢を

身につけること」。説明会に参加した40名のうち11名が応募し、5名の学生が選ばれた。そして3ヶ月間(週3日以上勤務)にわたり、事前に各自が設定した目標を意識しながら、サービス部門やレストラン部門などで実習、単位付与はないが、ウェスティンホテル大阪の規約に沿った給与が支払われた。

馬場奈都子さん (経営学部3年)

ホテル業界に興味があった。ルームサービスやエグゼクティブラウンジの仕事を体験し、ホテルの仕事に対する理解が深まった。主体性が強まり自分に足りないものを見つけられた。今後は欠点を改善し、めざす道を見つきたい。

藤原智津津さん (経営学部3年)

ホテルやブライダル業界に興味があった。ルームサービスとベルスタッフを中心に体験したが、イメージとは違い細かい対応が必要とわかった。何事も経験しないとわからない。いろいろ経験して自分に合った仕事を見つきたい。

和田勝人さん (経済学部2年)

所属クラブの先輩に勧められて応募した。受け身な性格なので、現場では、指示を待つではなく自分自身で考えて動いていった。最後に積極性を評価してもらって嬉しかった。大学生活でも自分の考えを持ち行動していきたい。

成果発表会では、馬場奈都子さん (経営学部3年)、藤原智津津さん (経営学部3年)、和田勝人さん (経済学部2年)、曾奈翔太さん (情報社会学部2年) の4名が、長期インターンシップについてプレゼンテーション。続いてウェスティンホテル大阪人事部長の植村守氏が、5名の就労を振り返り、「最初は不安だったが、現場の評価は高かった。社会では希望する仕事に就けないケースもあるが、与えられた仕事で頑張っていると評価され、チャンスが巡ってくる。皆さんの報告を聞いて成長が実感でき、涙が出るほど嬉しかった。今後

も積極的に、いろいろな経験をしたい」と講評、激励した。

本学初めての試みとなる3ヶ月間の「長期有償型インターンシップ」が、昨年10月1日から12月31日まで、ウェスティンホテル大阪で実施され、5名の学生が参加。最終課題の「成果発表会」が、2月8日(木)に行われた。

長期有償型インターンシップの目的は、「社会人基礎力を意識づけ、主体的に取り組む姿勢を

身につけること」。説明会に参加した40名のうち11名が応募し、5名の学生が選ばれた。そして3ヶ月間(週3日以上勤務)にわたり、事前に各自が設定した目標を意識しながら、サービス部門やレストラン部門などで実習、単位付与はないが、ウェスティンホテル大阪の規約に沿った給与が支払われた。

馬場奈都子さん (経営学部3年)

ホテル業界に興味があった。ルームサービスやエグゼクティブラウンジの仕事を体験し、ホテルの仕事に対する理解が深まった。主体性が強まり自分に足りないものを見つけられた。今後は欠点を改善し、めざす道を見つきたい。

藤原智津津さん (経営学部3年)

ホテルやブライダル業界に興味があった。ルームサービスとベルスタッフを中心に体験したが、イメージとは違い細かい対応が必要とわかった。何事も経験しないとわからない。いろいろ経験して自分に合った仕事を見つきたい。

和田勝人さん (経済学部2年)

所属クラブの先輩に勧められて応募した。受け身な性格なので、現場では、指示を待つではなく自分自身で考えて動いていった。最後に積極性を評価してもらって嬉しかった。大学生活でも自分の考えを持ち行動していきたい。

成果発表会では、馬場奈都子さん (経営学部3年)、藤原智津津さん (経営学部3年)、和田勝人さん (経済学部2年)、曾奈翔太さん (情報社会学部2年) の4名が、長期インターンシップについてプレゼンテーション。続いてウェスティンホテル大阪人事部長の植村守氏が、5名の就労を振り返り、「最初は不安だったが、現場の評価は高かった。社会では希望する仕事に就けないケースもあるが、与えられた仕事で頑張っていると評価され、チャンスが巡ってくる。皆さんの報告を聞いて成長が実感でき、涙が出るほど嬉しかった。今後

も積極的に、いろいろな経験をしたい」と講評、激励した。

2017年度卒業生の主な就職先

建設業

株式会社カシワバラ・コーポレーション、セキスイハイム近畿株式会社、積水ハウス株式会社、大鉄工業株式会社、太平電業株式会社、大豊建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、高松建設株式会社、日本建設株式会社、一建設株式会社、株式会社長谷工リフォーム、パナソニックリフォーム株式会社、株式会社ビーエス三菱、株式会社フジタ

製造業

アイリスオーヤマ株式会社、アサヒビール株式会社、アマノ株式会社、有光工業株式会社、アルインコ株式会社、イオンフードサプライ株式会社、一正蒲鉾株式会社、岩谷瓦斯株式会社、永大産業株式会社、エスケー化研株式会社、株式会社エフビコ、大阪シーリング印刷株式会社、岡部株式会社、株式会社オカムラ、株式会社カクダイ、株式会社加藤製作所、川田工業株式会社、関包スチール株式会社、共同印刷西日本株式会社、極東開発工業株式会社、株式会社キングジム、ケイミュー株式会社、KYB-YS株式会社、高圧ガス工業株式会社、株式会社ゴールドウイン、株式会社鼓月、佐川印刷株式会社、サトーホールディングス株式会社、サ・バック株式会社、三甲株式会社、三和シャッター工業株式会社、CKD株式会社、株式会社JSP、敷島製パン株式会社、シノプフーズ株式会社、株式会社ジュン、スズキ株式会社、大光電機株式会社、株式会社ダイヘン、株式会社タカギ、タカラスタンダード株式会社、立川プラインド工業株式会社、タツタ電線株式会社、株式会社TANA-X、株式会社ツムラ、THK株式会社、株式会社寺岡精工、寺崎電産株式会社、トーカー株式会社、トソー株式会社、株式会社トッパンTDKレーベル、鳥居薬品株式会社、株式会社トンボ、ナカバヤシ株式会社、ナカライテック株式会社、ニチアス株式会社、ニッタン株式会社、日東工業株式会社、日本食研ホールディングス株式会社、株式会社日本デジタル研究所、日本ベント株式会社、株式会社ノーリツ、株式会社ファイブフォックス、補助工業株式会社、株式会社フジキン、富士通株式会社、フジテック株式会社、プライムデリカ株式会社、フルサト工業株式会社、株式会社ブルボン、ホーチキ株式会社、北越工業株式会社、北陸コカ・コーラボトリング株式会社、株式会社マキタ、丸井産業株式会社、水戸工業株式会社、株式会社ミマエンジニアリング、株式会社ミルボン、モリ工業株式会社、山崎製パン株式会社、吉野石膏株式会社、わらべや日洋株式会社

情報通信業

アイエックス・ナレッジ株式会社、ITX株式会社、株式会社アルファシステムズ、株式会社グインクス、株式会社NSD、NCS&A株式会社、エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社、兼松コミュニケーションズ株式会社、関電システムソリューションズ株式会社、株式会社サイネックス、株式会社システナ、株式会社ソフトウェア・サービス、日経メディアマーケティング株式会社、株式会社日立システムズパワーサービス、富士ソフト株式会社、株式会社マイナビ、三菱総研DCS株式会社、株式会社よしもとブロードエンタテインメント、株式会社 ytv Nextry

運輸業

アートコーポレーション株式会社、株式会社エーアイティー、花王ロジスティクス株式会社、近畿日本鉄道株式会社、鴻池運輸株式会社、株式会社サカイ引越センター、佐川急便株式会社、センコー株式会社、東京急行電鉄株式会社、トウコンサービス株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、日通NECロジスティクス株式会社、日通・パナソニックロジスティクス株式会社、日本梱包運輸倉庫株式会社、日本通運株式会社、阪急電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、福山通運株式会社、名鉄運輸株式会社、ヤマト運輸株式会社

卸売業

旭食品株式会社、アシックスジャパン株式会社、株式会社あらた、伊丹産業株式会社、伊藤忠丸紅特殊鋼株式会社、因幡電機産業株式会社、井上定株式会社、ウメトク株式会社、英和株式会社、AGC硝子建材株式会社、エコートレーディング株式会社、株式会社エスエスケイ、オーウエル株式会社、株式会社大家商会、株式会社大西、オザックス株式会社、貝印株式会社、加藤産業株式会社、株式会社カナデン、北恵株式会社、キヤノンシステムアンドサポート株式会社、旭洋株式会社、清原株式会社、株式会社クボタ建機ジャパン、株式会社ケーエスケイ、国分西日本株式会社、小西医療器株式会社、佐藤金属株式会社、株式会社三景、サンコーインダストリー株式会社、株式会社三笑堂、サントリービバレッジサービス株式会社、サンワテクノ株式会社、資生堂ジャパン株式会社、ジャベル株式会社、新生紙パルプ商事株式会社、杉本商事株式会社、株式会社スミノエ、泉州電業株式会社、株式会社第一興商、ダイキンエアテクノ株式会社、ダイキン・コンシューマ・マーケティング株式会社、ダイキンHVACソリューション近畿株式会社、大興物産株式会社、タイド一株式会社、タイトロ株式会社、タイフボウ情報システム株式会社、株式会社高山、株式会社たけでん、株式会社千代田組、月星商事株式会社、株式会社TDモバイル、株式会社テクノアソシエ、株式会社デザインアーク、株式会社ドウシシャ、東芝コンシューママーケティング株式会社、株式会社トゥモロランド、トーヨーグループ、株式会社トーヨータイヤジャパン、株式会社NalTO、中日本フード株式会社、西川リビング株式会社、株式会社日信、株式会社日興商會、日清医療食品株式会社、株式会社日本アクセス、日本管材センター株式会社、日本機材株式会社、阪和工材株式会社、株式会社光アルファックス、富士ゼロックス大阪株式会社、富士フイルムメディカル株式会社、フジモトHD株式会社、マツモト産業株式会社、丸文株式会社、萬世電機株式会社、三菱電機住環境システムズ株式会社、ミドリ安全株式会社、宮野医療器株式会社、株式会社モリタ、株式会社モンベル、八洲電機株式会社、ヤチヨコシステム株式会社、山文商事株式会社、株式会社山星屋、株式会社やよい、ヤンマーアグリジャパン株式会社、UCC上島珈琲株式会社、ユーシーシーフーズ株式会社、横浜冷凍株式会社、リコージャパン株式会社、リック株式会社、リックス株式会社、株式会社リョーサン、リリカラ株式会社、株式会社ワキタ、渡辺パイプ株式会社

小売業

青山商事株式会社、株式会社アグストリアホールディングス、イオンリテール株式会社、ウエルシア薬局株式会社、株式会社エディオン、エネクスフリー株式会社、株式会社オークワ、株式会社関西スーパーマーケット、株式会社クスリのアオキ、コーナン商事株式会社、株式会社コスモス薬品、株式会社コナカ、株式会社コメリ、株式会社しまむら、上新電機株式会社、株式会社スギ薬局、生活協同組合コープこうべ、株式会社セブン・イレブン・ジャパン、総合メディカル株式会社、株式会社大創産業、株式会社ティーガイア、株式会社阪急オアシス、株式会社ファミリーマート、株式会社平和堂、株式会社万代、株式会社やまや、株式会社ヨドバシカメラ、株式会社ライフコーポレーション、株式会社ローソン、株式会社ワールドストアパートナーズ

金融・保険業

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社青森銀行、尼崎信用金庫、株式会社阿波銀行、淡路信用金庫、株式会社池田泉州銀行、いちよし証券株式会社、岩井コスモ証券株式会社、永和信用金庫、エース証券株式会社、大阪協栄信用組合、大阪厚生信用金庫、大阪シティ信用金庫、大阪商工信用金庫、大阪信用金庫、大阪貯蓄信用組合、大阪府医師信用組合、岡三証券株式会社、株式会社オリエントコーポレーション、オリックス銀行株式会社、株式会社香川銀

行、株式会社関西アーバン銀行、北おおさか信用金庫、きのくに信用金庫、京都中央信用金庫、株式会社近畿大阪銀行、近畿産業信用組合、株式会社近畿しんきんカード、近畿労働金庫、成協信用組合、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、第一生命保険株式会社、株式会社大正銀行、玉島信用金庫、但陽信用金庫、株式会社中国銀行、株式会社鳥取銀行、株式会社トマト銀行、トヨタファイナンス株式会社、中兵庫信用金庫、奈良県信用保証協会、奈良中央信用金庫、日新信用金庫、播州信用金庫、姫路信用金庫、株式会社百十四銀行、兵庫県信用保証協会、兵庫信用金庫、福井信用金庫、丸三証券株式会社、株式会社三重銀行、株式会社みなと銀行、明治安田生命保険相互会社、株式会社山口フィナンシャルグループ、株式会社りそな銀行、和歌山県医師信用組合

不動産業

株式会社MDI、サンヨーホームズ株式会社、住友不動産販売株式会社、積和不動産関西株式会社、大和リビング株式会社、東急リパブル株式会社、三井不動産リアルティ株式会社

飲食店・宿泊業

株式会社あきんどスリロー、大阪ヒルトン株式会社、株式会社スーパ一ホテル、株式会社すかいらーく、株式会社ロイヤルホテル

医療・福祉

和泉市立総合医療センター、社会福祉法人天王福祉会、パナソニックエイジフリー株式会社、株式会社ハマノコンタクト、社会福祉法人福祥福祉会

教育・学習支援業

尼崎市立尼崎双星高等学校、宇治市立南部小学校、大阪市立扇町総合高等学校、大阪府立東住吉支援学校、岡山県立笠岡商業高等学校、小野市立小野南中学校、岸和田市立産業高等学校、学校法人玉田学園、兵庫県立神戸商業高等学校、大和高田市立高田商業高等学校

複合サービス業

大阪市農業協同組合、大阪中河内農業協同組合、大阪北部農業協同組合、大阪南農業協同組合、岡山市農業協同組合、香川県農業協同組合、加古川市南農業協同組合、北びわこ農業協同組合、紀北川上農業協同組合、京都市農業協同組合、丹波ささやま農業協同組合、津山農業協同組合、奈良県農業協同組合、日本郵便株式会社、兵庫西農業協同組合、兵庫六甲農業協同組合、わかやま農業協同組合

サービス業

アイ・ケイ・ケイ株式会社、株式会社アクティオ、株式会社アド・ダイセン、株式会社ウィルグループ、株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社エス・ティー・ワールド、MXモバイリング株式会社、小野商工会議所、株式会社学情、関西アーバン銀リース株式会社、関西東芝エンジニアリング株式会社、株式会社神戸新聞事業社、コマツレンタル株式会社、JA三井リース株式会社、税理士法人ジェイエスケイ、株式会社スタッフサービス、太陽建機レンタル株式会社、大和リース株式会社、株式会社ダスキン、株式会社ティアドーズ・ブレイン、東洋テック株式会社、株式会社トーカイ、西尾レントオール株式会社、株式会社日本経済廣告社、一般社団法人日本自動車連盟、日本年金機構、株式会社日本旅行、株式会社白洋舎、東山産業株式会社、福山商工会議所、株式会社船井総合研究所、株式会社ベストプライグル、株式会社ユー・エス・ジェイ、吉忠ナメキン株式会社、株式会社ラウンドワン、株式会社リログループ、ワタキューエイモア株式会社

公務

尼崎市消防局、有田市役所、大阪市消防局、大阪府警察本部、香川県警察本部、加古川市消防本部、京丹後市役所、京都府警察本部、警視庁、高知県警察本部、国税局、堺市消防局、自衛隊、龍郷町役場、兵庫県警察本部、兵庫県庁、法務省大阪矯正管区、和歌山市役所

正課外活動や学生の地域貢献をサポートする

スポーツ・文化センター (KSCC:keidai sports&culture center)

**2018年4月
開設**


スポーツ・文化センターは「日本版NCAA」(National Collegiate Athletic Association: 全米大学体育協会)構想をモデルとし、スポーツに加え文化系のクラブ活動もサポートしていきます。

すでに本学にある「資源」「実績」を活用し、学生の学び、クラブ活動と地域貢献・社会貢献を結びつける取り組みを始めます。レギュラー以外の学生にも新たな形で活躍の場を提供します。

クラブ強化支援

- ・クラブ運営支援
- ・正課の学習活動支援

デュアルキャリア
(クラブ・学業両立)
支援

マネジメント

- ・学生企画のサポート
- ・クラブ応援のサポート
- ・ボランティア活動のサポート
- ・情報発信 (HP・大経大スポーツ情報)

学生に
実践の場を提供

地域連携推進

- ・キッズカレッジの維持、拡大
- ・地域との交流
- ・近隣の小中学校での部活指導

近隣学校との
施設相互利用も

民・産・学・官 連携推進

- ・外部に本学の「資源」を情報発信
- ・本学の「資源」を活用した実験、研究

教育・研究の場である
大学をアピール
外部資金の獲得

FD通信

全学FD委員会では、本学の教育の質を向上させるために、2月と4月に2回のFDフォーラム、そして新任者研修会を行いましたのでご報告いたします。

第37回全学FDフォーラム

第3サイクルの認証評価－内部質保証の実質化に向けて－

公益財団法人 大学基準協会 事務局長 工藤 潤 氏

●2018年2月14日(水) 16:30～18:00
B館3階 B32教室



大学は7年以内に一度、認証評価機関の評価を受けることが義務付けられており、その認証評価制度は2018年度から第3サイクル(期)を迎え、従来に比べて内部質保証の実効性がより問われる内容へと変わります。そこで、公益財団法人大学基準協会から工藤事務局長をお招きし、第3期の認証評価制度について理解を深める機会を設けました。

第3期の特徴として、内部質保証の一層

の重視、全学的観点からの自己点検・自己評価、そして学習成果の重視などが挙げられました。各学部・研究科が掲げる学位授与方針(ディプロマ・ポリシー: どのような力をつけた者に卒業を認定するかの基本的方針)などのいわゆる「三つのポリシー」を議論の中心に据え、学習成果を把握・測定し、評価する方法を開発するなど、教育の質向上を図るためにPDCAサイクルを回して、大学全体で取り組むことが求められているのです。

今回のお話で、内部質保証の推進が全学的な教学マネジメントのもと進められることがわかりました。内部質保証では主に教学の改善が中心となるため、教授会直後にも関わらず多くの教員の参加がありました。全学FD委員会では、学習成果の測定や評価など、難しい問題を前進させるべく支援していきたいと考えています。

【参加者】教員30名、職員23名、合計53名

新任者研修会

大学をより深く理解する

●2018年4月2日(月)
11:00～17:00 (13:15～15:25を除く)
J館3階 特別会議室



2018年4月着任教員17名を対象に実施しました。内容は、徳永光俊学長による「大阪経済大学の歴史と教育」、田中美也子広報課長による広報活動紹介、そして情報処理センターによる本学のIT環境とその使い方の説明でした。今回は今春着任の新任職員5名も参加しての研修となりました。

第38回全学FDフォーラム

ワークショップ 「学生がよく学ぶ授業法」

古宮 昇 人間科学部 教授(臨床心理学)

●2018年4月2日(月) 13:15～15:15
E館5階 E54教室

例年、新任教員に向けた新任者研修の中で、全学FDフォーラムを実施しています。今年は新任教員以外の教員の参加や新任職員の参加があり、活発なやり取りがあちこちで行われ、活気のあるワークショップとなりました。

【参加者】教員20名、職員5名、合計25名



黒正塾 第16回春季歴史講演会

歴史を紐解くと見える 人生のヒントとは

黒正塾 第16回春季歴史講演会。講演会主催/大阪経済大学 学日本経済史研究所が、5月12日(土)午後2時、4時まで、A館フレアホールで開催された。テーマは「人間の生き方を考えるー長年の歴史研究から学んだこと」で、講師は幕末史を専門とする歴史学者・家近良樹特別招聘教授。生きて、老い、病み、死んでいく「生老病死」を、歴史上の人物に当てはめて、リーダーのあり方や、激動の時代の生き方を探ろうという。川幕府を追い込んだように解釈されているが、現実は、そのような一本道ではない。世の中で生じる出来ごとの大半には、必然的な原因と偶発的な原因が存在する。その因果関係をみつめ分析することが大事」と強調した。また、歴史上の人物の「生老病死」について考えることで、「人生をより良く生きるヒントが得られる」として、日本人に人気がある幕末期の西郷隆盛に言及。「健康なイメージがあるが、実はストレスに苦しんでいた。西南戦争は西郷の人生最大のミスだが、常に人望があった」として、「リーダーに欠かせない条件の一つは、人を大きなもので包み込める温厚さではないか」と独自のリーダー論を展開。さらに、「かつての日本人は歴史書からリーダーのあるべき姿を学んでいた」と、歴史家の、他の学問にはない面白さ

第16回 春季月

主催 大阪経済大学日本経



と有用性を強調。自身の入院生活を振り返りながら、今後の人生における読書の必要性・重要性なども強くアピールして締めくくった。講演後は、大勢の家近教授のファンが舞台上に駆け寄り、家近教授は、歴史の解釈などをめぐる質問に丁寧に答えていた。

教職 KAWARABAN



子どもの良いところを見つけ、伸ばし、成長の喜びを分かち合いたい

特別支援学校教諭：木村誠さん（経営学部79回卒）

高校教諭をめざしていた木村誠さん。卒業後、知的障がいをもつ子どもたちが学ぶ学校で講師を勤めるうち、子どもと本気で向き合う仕事にやりがいを見出し、特別支援学校の教員免許を取得した。現在は奈良県立ろう学校（奈良県大和郡山市）の小学部で教鞭をとっている。



取材で訪れたのは5月23日（水）。木村先生は、聴覚障がいと知的障がいのある2年生の担任。2限の「ことば・かず」と、3限の「たいいく」の授業を担当していた。「ことば・かず」では、あいさつに始まり、「てあそび」や「えほん」などで数や文字を学んでいく。児童と教員の距離は近く、常に目の届く範囲で交流する。木村先生は終始笑顔を絶やさない。大きな聞き取りやすい声で、手話を交えながら進める。今日はどんな手話で、どんな考えを紹介しようかなと、あれこれ工夫するという。

続いて「たいいく」の授業。体育館に集まった児童の前で、ラジオ体操のお手本を見せる。体を伸ばし、ねじり、大きな動きで児童たちをリードする。ボール遊びでは他の教員と連携して、バドミントンのボーリングや、球を転がしてのキャッチボールをサポートする。

いつも意識しているのは、ほめることだ。100の課題があって、もし3しかできないなら、僕はそれ3つをほめ、一緒に成長を喜びたいと思う。

特別支援学校で教える喜びは、自分の一言で子どもが変わるという経験ができること。例えばダンスの最中に声をかけてあげると、急に生き生きとした動きをはじめる。子どもが元気に



なる瞬間に立ち会えるのは、素晴らしい経験。自分の中の引き出しを増やし、知識を積んで、子どもが今何を言いたいかをしっかりつかみ、内に秘めた輝く部分を外に出す手伝いがしたい。そのための努力には終わりがありません。



本学との交流は今も続いている。教職関連の催しに招かれ、特別支援学校の教員の仕事を紹介することもある。大学で話すことはいい経験。自分の仕事の内容を整理し、今後なすべき

ことを考える際の参考にもなる。後輩たちへは「無理はしないで、焦らないで」がメッセージ。「教員になると、他の先輩先生はみんな素晴らしく見えます。つい焦ってしまうこともあるでしょう。そんな時は『今日はこれだけ』と小さい目標を決め、少しずつ歩みを進めてほしいですね」。大切にしている言葉は「夢叶うまで挑戦」。木村先生は今日も、子どもたちとのふれあいを楽しみながら挑戦が続いている。

～ご支援いただいた皆様へ～

教育振興募金 2017年度報告

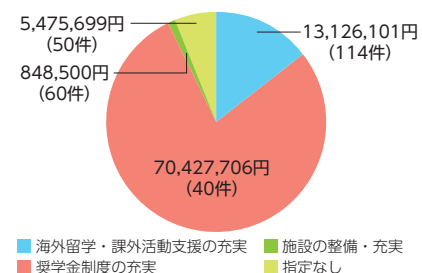
本学では、教育振興募金事業において①海外留学支援などグローバル人材の育成、課外活動支援の充実、②奨学金制度の充実、③施設の整備・充実に取り組むため、皆様からのご支援をお願いしております。2017年度は個人・団体の皆様から264件、総額89,878,006円のご寄付をいただきました。本学への温かいご支援に対し、御礼申し上げます。

ご寄付の用途について一部ご報告いたしますと、課外活動支援のうち、ラグビー部へ20件1,380,000円、サッカー部へ1件100,000円、準硬式野球部へ3件35,000円のご寄付をいただき、当該クラブ活動の支援に活用。また、古本募金※においては、65件245,995円のご支援をいただきました。

次に、奨学金制度の充実に対するご寄付のうち、大阪経済大学大樟会（同窓会）のご寄付を、同窓会遠隔地学生奨学金と同窓会緊急修学援助奨学金に充て、合わせて25名分の給付

枠を増設。また、矢倉英一様（本学卒業生）からのご寄付を、「矢倉英一ベトナムスカラシップ」創設に充て、ベトナム国籍を持つ私費外国人留学生に対する支援に活用。その他、大樟奨学金の運用基金に充当いたしました。

引き続き、本学では教職員が一丸となって教育・経営改革等に取り組み、自助努力を続けてまいりますので、格別のご理解と力強いご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



教育振興募金へのお申込み方法

①銀行振込の場合

同封の用紙をご利用ください。（指定銀行の場合、振込手数料無料）

②インターネット（クレジットカード払いも可）の場合

<http://www.osaka-ue.ac.jp/information/contribution/application.html> からお手続きください。

③本学窓口受付（現金）の場合

J館2階経理課にてお手続きください。

④古本募金（本学はきしゃぽんの協働パートナーです）の場合

※古本募金とは、書籍やCD・DVDなど使い終わったものをリサイクル換金してご寄付いただく方法です。

●インターネットから <http://www.kishapon.com/osaka-ue/> お手続きください。

●電話から フリーダイヤル0120-29-7000へ「大阪経済大学に寄付したいのですが」とお伝えください。



お問い合わせ先 大阪経済大学教育振興募金事務局（総務課） 06-6328-2431(代)

卒業生・後援会員の皆様へ

大経大パソコン教室のご案内

昨年に引き続き、今年もパソコン教室を開催させていただき運びとなりました。本年度も充実した講義内容となっておりますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 開催日時 2018年9月8日（土）、9日（日） 午前9時～午後5時（予定）
※いずれか1日のみのご参加とさせていただきます。
- 場所 大阪経済大学大隅キャンパスD館
- 参加費 無料

コース 難易度：（例 ★☆☆☆☆）	コース内容
ワードコース （★★☆☆☆）	ワードの基礎から応用までの操作を学ぶコースです。文章入力 の練習から入りますので、初心者でも安心して受講できます。
パワーポイント コース （★★★☆☆）	パワーポイントの基礎から応用までの操作を学ぶコースです。 パワーポイントを使ったことがない方でも、安心して受講できる 内容です。
エクセルコース （★★★★☆）	エクセルを使い簡単な計算を行います。パソコンの操作にある 程度慣れており、基本の部分を理解できている人向けです。
Microsoft Office 入門コース （★☆☆☆☆）	上記の3つのソフト（ワード・パワーポイント・エクセル）の初 歩的な操作を学び、パソコンの操作にも慣れていただくことを 目的としたコースです。

応募要項

- 応募条件 本学後援会員とご家族／本学卒業生とご家族
※ご家族のみの参加も可能です。1組につき5名までとさせていただきます。
- 応募方法 受講ご希望の方は、申込用紙に必要事項をご記入の上、封書も
しくはFAXにてお申し込みください。
※封書の場合、郵送料等はご本人様のご負担となりますので
予めご了承ください。
- 応募先 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
大阪経済大学大樟会事務局 パソコン教室 係
TEL：06-6328-2431（代） FAX：06-6328-4564
- 申込締切日 7月20日（金）〈当日消印有効〉
※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。当選発表は受講
票の発送を持って代えさせていただきます。（8月中旬に発送予定）

その他

- 会場へのアクセス 会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用の
上、ご来場ください。
・電車 阪急京都線「上新庄」駅より徒歩約15分
大阪メトロ今里筋線「瑞光四丁目」駅より徒歩約2分
・バス 大阪シティバス「大阪経大前」「大阪経大正門」下車すぐ
暴風警報発令等により中止となった日は、翌週の9月15日（土）に
延期します。
- 延期の場合

予期せぬ災害発生・・・あなたは5時間歩けますか？
帰宅困難者にならないためには普段から「5時間歩ける健脚づくり」
『災害に強いまちづくりは健脚から』

OSAKA 5GO!WALK

開催！
（予定）

日時：2018年12月1日（土）9:00～16:00

場所：大阪経済大学及びウオークコースとして東淀川区全域

※参加者募集、協賛企業募集の詳細については決まり次第、HPでお知らせいたします。